

「目の健康は重要。素晴らしい取り組み」

鯖江の「眼育」に関心

国連永久大使視察 WHO 報告へ

国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」推進のため来福している国連永久大使のアンワル・K・チャウドリー氏(76)はバンクグラデシユ出身が6日、鯖江市神明町4丁目のあおいこども園で、市が展開する目の健康増進運動「眼育」を視察した。園児らと一緒に「見る力」を育てるゲームを体験した。

眼育は子どもたちの目を守る

覚認知や広く見る力を鍛えることができるという。チャウドリー氏は年中組約30人と一緒に体験し、眼育について理解を深めていた。

チャウドリー氏は「目の健康は重要。この取り組みは素晴らしい」と称賛した。同氏が会長を務める認定NPO法人「国連の友アジアパシフィック」によると、子どもの視力低下は国際的にも社会問題化しており、眼育事業について同氏を通じて世界保健機関(WHO)に報告するという。

同日、チャウドリー氏は



視覚発達ゲームを視察するチャウドリー氏(後列中央)＝6日、鯖江市のあおいこども園



南越丹生

鯖江支社
☎ 0778(53)0234
FAX0778(53)0252
武生支社
☎ 0778(23)1221
FAX0778(23)1942

同市中央中で、1、2年生656人に対しSDGsに関

する講演も行った。互いに思いやりを持つことの重要性を強調し、女子生徒に対しては「自分に自信を持ってこれからの世界を引っ張ってほしい」とエールを送った。

市つるしの里会館と市内の眼鏡企業も視察した。

(杉本拓磨)